

地域おこし協力隊に石橋辰耶さんが着任しました

9月1日付(着任日は9月2日)で小坂町の新たな地域おこし協力隊として、石橋辰耶さんが着任しました。石橋さんは千葉県出身で、町が新たな産業として力を入れているブドウ栽培とワイン醸造に携わる活動を行います。すでに同じ活動をしている先輩隊員の熊澤圭祐さんとともに新たな産業での活躍が期待されています。



着任の翌日から小坂七滝ワイナリーでさっそく活動をスタートしています



ようこそ小坂町へ！ 石橋さんに質問してみました

◆小坂町で協力隊になろうと思った理由

移住体験ツアーを通して自然が豊かで涼しく過ごしやすい環境、人の良さを感じ、農業にも興味があったので協力隊に応募しました。

◆小坂町の好きな(いい)ところ

都会にはない自然豊かで涼しい環境です。

◆小坂町で一番気になること

冬の積雪量(雪国での生活ははじめて)です。

◆小坂七滝ワイナリーのワインに出会って思ったこと

今まで飲んだことのない味を感じました。もっと有名になって多くの人たちに飲まれるべきだと感じました。

◆最後に町民の皆さんへひとこと

小坂町には明治百年通りなど魅力的な場所があり、良い自然環境やおいしい食べ物・山ぶどうを使った美味しいワインなどもあります。観光客や遊びに来てくれる人をもっと増やしていきましょう。

■お問い合わせ先 総務課企画財政班(TEL29-3907)



小坂町地域おこし協力隊

熊澤 圭祐さんの協力隊コラム

一粒の実になって

先月より小坂七滝ワイナリーではワインの仕込みが最盛期を迎えています。今年は去年に比べてブドウの集荷量が順調に増えており、ワインの原料となるヤマブドウ系品種の小公子やワイングラードも去年以上に確保することができています。タンクに入ったブドウは発酵が進み、これからワインに仕上がっていくのが楽しみです。



固定資産評価 審査委員の紹介

令和6年10月1日から新しい固定資産評価審査委員として、中村朝光氏が選任されました。

固定資産評価審査委員会は、固定資産課税台帳に登録された価格(評価額)に関する不服を審査するため法律に基づき設置された行政委員会で、登録価格(評価額)に不服がある納税義務者は委員会に対して審査の申出をすることができ、委員会は中立的な立場から固定資産課税台帳の登録価格(評価額)が適正なものであるかどうか審査を行います。

固定資産評価審査委員会は3人の委員で構成され、任期は3年間です。



中村 朝光氏

■お問い合わせ先 町民課税務班(TEL29-3904)